

# 令和2年度予算

## 予算総額171億8,990万円

一般会計 107億円  
 特別会計 64億8,990万円  
 前年度増減額 6,530万円（増減率 0.4%）

【概要】 昨年は、ラグビーワールドカップ開催に日本全国が活気づいた一方で、台風19号による豪雨・土砂の被害や箱根山の噴火警戒レベル2への引き上げ等、かつてない自然災害に見舞われ、前年に増して防災力の強化が問われる一年となりました。令和2年度は、相次いだ災害からの復旧・復興に注力し、安心ある暮らしを支える体制をいち早く整え、次の災害に備えた対策を講じていきます。

同時に、「復興五輪」を掲げる東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催を目前に控え、世界に誇る観光地として誘客事業を推進し、町の目標とする将来像「やすらぎとおもてなしのあふれる町」の「やすらぎ」、「おもてなし」のいずれの充実も目指していきます。

限られた財源をより有効的に活用し、暮らしと観光の両面において安定した持続可能な未来あるまちづくりに向けて、前進を図る予算編成を行いました。

### 予算総額

令和2年度一般会計予算の総額は107億円となり、前年度より2億8,500万円の増額となりました。

### 歳入・歳出

【歳入】 町税は、台風19号の影響や法人税割の税率引き下げにより、前年度比8,780万円の減となります。町債は、総合体育館整備事業債など合計13億3,650万円の借入れを予定しています。また、ふるさと納税寄付金は4億5,000万円を計上しました。

【歳出】 災害からの復旧・復興事業の着実な執行を図りながら、4つの重点施策分野を推進します。第1に「防災力の強化」として、従来の防災資機材の更新や町内医療機関への非常用発電機の配置、宿泊事業従事者を中心とした防災士の養成など、防災・減災のための施策に取り組みます。第2に「若者定住の促進」としては、トライアルステイなど町民と連携した移住者支援事業を継続して進めるとともに、出産後の健康診査費用・新生児聴覚検査の初回検査

費用等の助成や第3子以上で18歳以下の方の国民健康保険料の均等割額全額免除など、子育てしやすい環境の整備を図ります。第3の「健康生活の推進」では、未病対策として運動習慣の定着を目指すほか、ごみ出しサービスの拡充や買い物支援サービスの新たな実施など、高齢者の安心な暮らしの維持のために共助の仕組みづくりを進めます。第4に「ブランド力の強化」として、町の自然を次世代につなげていく環境保全計画に着手すると同時に、箱根DMOと連携したキャッシュレスシステムの導入などにより、国内外からの旅行者の満足度向上と観光面の活気につなげていきます。また、東京オリンピック・パラリンピック大会関連事業として、ホータン王国およびミャンマー連邦共和国の事前キャンプ受け入れや小・中学生のパラリンピック観戦のサポートなど町全体を盛り上げる準備を整え、国際空港ターミナル内でのパンフレット配架や旅客機内でのPR動画放映など、海を越えて日本を訪れる方々への積極的な誘客宣伝にも力を注ぎます。

公債費 9億100万円  
 (前年度増減額 2,500万円)

町債(借入金)を返済するお金

観光費 7億8,191万円  
 (前年度増減額 2億5,563万円)

町の観光宣伝として開催する事業や産業振興などに使うお金  
 ・インバウンド観光推進事業  
 ・はこね親善大使事業  
 ・東京2020大会特別宣伝事業

土木費 5億5,989万円  
 (前年度増減額 3,073万円)

道路、公園整備、住宅管理などに使うお金  
 ・町道箱1号線道路改良整備事業  
 ・都市計画基本図作成事業  
 ・町営住宅整備事業

農林水産業費 1億4,105万円  
 (前年度増減額 1,426万円)

農林業や水産業の振興のために使うお金  
 ・有害鳥獣対策事業  
 ・豊かな森林づくり事業  
 ・森林病虫害防除対策事業

議会費 1億2,383万円  
 (前年度増減額 288万円)

議会運営のために使うお金

その他 2億2,441万円  
 (前年度増減額 △2,110万円)

諸支出金、災害復旧費、予備費など  
 ・公共下水道事業会計補助金

総務費 20億549万円  
 (前年度増減額 △2億8,582万円)

町の事務・庁舎管理、選挙など町の総括的な事務にお金  
 ・総合計画後期基本計画策定事業  
 ・東京2020大会聖火リレー応援事業  
 ・地震等災害対策事業

民生費 16億7,564万円  
 (前年度増減額 2,400万円)

福祉サービス、各種医療の助成など福祉全般に使うお金  
 ・介護従事者等支援事業  
 ・高齢者サポート事業  
 ・放課後児童健全育成事業

教育費 15億6,397万円  
 (前年度増減額 △5,223万円)

幼稚園、小・中学校の運営、文化財保護など教育全般に使うお金  
 ・東京2020大会体験事業  
 ・文化遺産情報発信事業  
 ・総合体育館整備事業

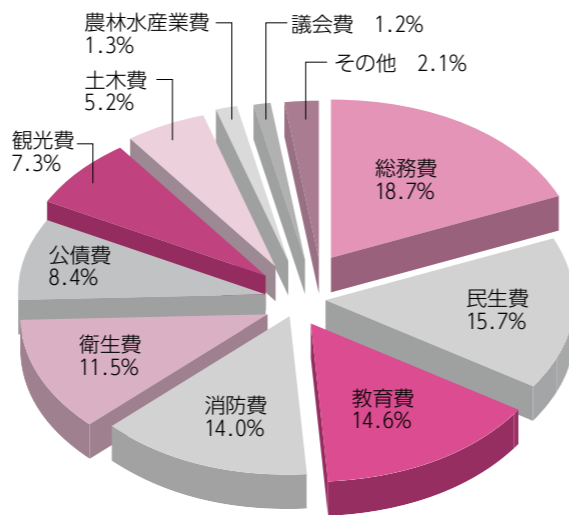
消防費 14億9,421万円  
 (前年度増減額 2億8,332万円)

消防・救急活動、防火水槽や消火栓の設置などに使うお金  
 ・救急業務高度化推進事業  
 ・地震等災害対応資機材整備事業  
 ・消防車両整備事業

衛生費 12億2,860万円  
 (前年度増減額 834万円)

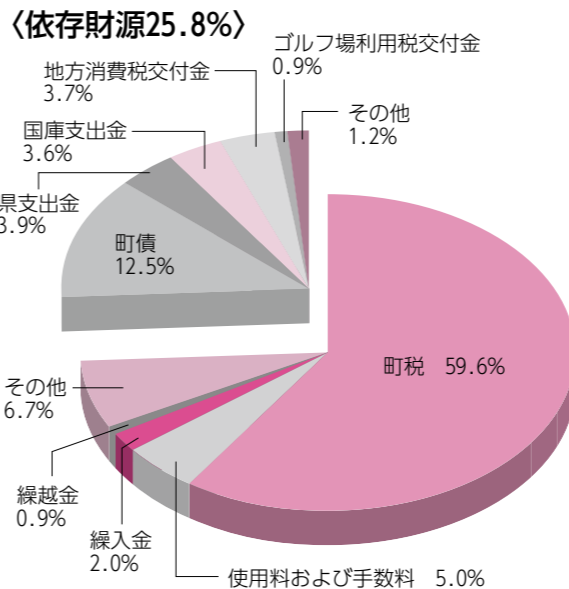
保健衛生、ごみ処理、環境保全など衛生的な生活のために使うお金  
 ・健康づくり推進事業  
 ・産婦健康診査費助成事業  
 ・環境基本計画策定事業

## 歳出



特別会計予算 64億8,990万円			
前年度増減額 △2億1,970万円 増減率 △3.3%			
会計名	当初予算額	前年度増減額	増減率
特別会計	33億 950万円	△5,060万円	△1.5%
国民健康保険	13億7,900万円	△7,100万円	△4.9%
後期高齢者医療	3億4,690万円	340万円	1.0%
介護保険	14億 520万円	3,520万円	2.6%
4 財産区	370万円	△90万円	△19.6%
温泉	1億5,170万円	△1,230万円	△7.5%
育英奨学金	2,300万円	△500万円	△17.9%
水道事業会計	7億3,010万円	2,700万円	3.8%
公共下水道事業会計	24億5,030万円	△1億9,610万円	△7.4%

## 歳入



### 〈自主財源74.2%〉

町の予算には、一般会計とは別に「国民健康保険ほか8つの特別会計」と「水道事業会計」「公共下水道事業会計」があります。これらは特定の事業を行う場合や、町特有の仕事をするために、一般会計と区別して設けられており、特定の収入を特定の支出に充てるなど、それぞれの会計内でやりくりしています。

### 特別会計

### ◆町税の内訳

税目	予算額	前年度増減額
固定資産税	45億6,290万円	4,470万円
町民税	9億2,610万円	△1億540万円
入湯税	7億1,340万円	730万円
町たばこ税	1億4,790万円	△1,390万円
軽自動車税	3,070万円	230万円
合計	63億8,100万円	△6,500万円

自主財源 (74.2%)		
	予算額	前年度増減額
町税 (町に納められる税金)	63億8,100万円	△6,500万円
使用料および手数料 (施設の利用率や住民票などの交付手数料として支払われるお金)	5億3,024万円	6,279万円
繰入金 (基金の取り崩しにより繰り入れるお金)	2億1,493万円	380万円
繰越金 (前年度から繰り越されるお金)	1億円	△3,000万円
その他 (財産収入、分担金および負担金、寄付金など)	7億1,055万円	2億9,882万円

依存財源 (25.8%)		
	予算額	前年度増減額
町債 (国や県、金融機関から借り入れるお金)	13億3,650万円	△2,840万円
県支出金 (事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金)	4億1,692万円	281万円
国庫支出金 (事業など特定の目的の財源として国から交付されるお金)	3億8,393万円	△3,146万円
地方消費税交付金 (地方消費税として徴収し、町の人口割合などに応じて国から交付されるお金)	4億円	6,900万円
ゴルフ場利用税交付金 (県に納められたゴルフ場利用税からゴルフ場のある町に交付されるお金)	1億円	△1,000万円
その他 (地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金など)	1億2,594万円	1,264万円